

令和3年度第1回埼玉県青少年健全育成審議会

埼玉県の少年非行情勢

～少年非行・犯罪被害の現状と課題～

埼玉県県民生活部青少年課

企画・非行防止担当 唐仁原哲也

本日の内容

1 青少年が抱える主な問題

2 非行問題

(1) 少年非行の現状

(2) 課題

ア 特殊詐欺への加担

イ 大麻使用者の増加

3 少年の性被害防止

SNS利用に起因する犯罪被害

○ 重要犯罪（誘拐等）の被害

○ 自画撮りによる児童ポルノ被害

4 対策

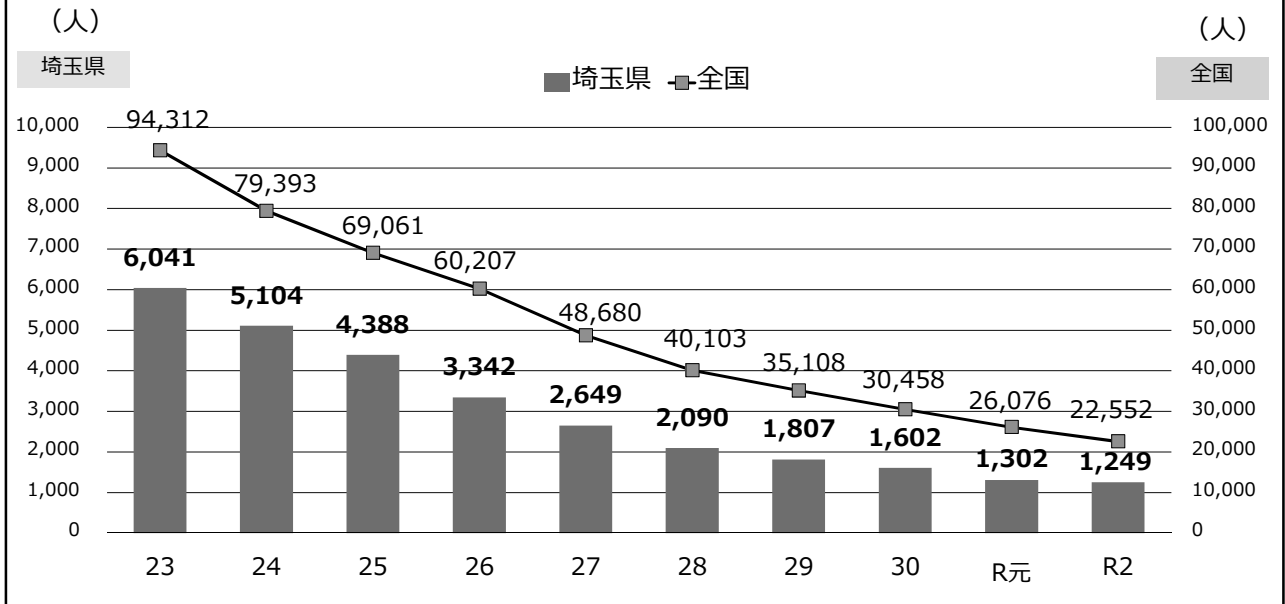
1 青少年が抱える主な問題

- 非行問題
- 性被害防止
- 児童虐待
- 若年無業者、不登校、引きこもり
- 障害等のある子供・若者の支援
- 貧困問題
- 特に配慮が必要な子供・若者の支援
(自殺対策、外国人の子供の教育) etc.

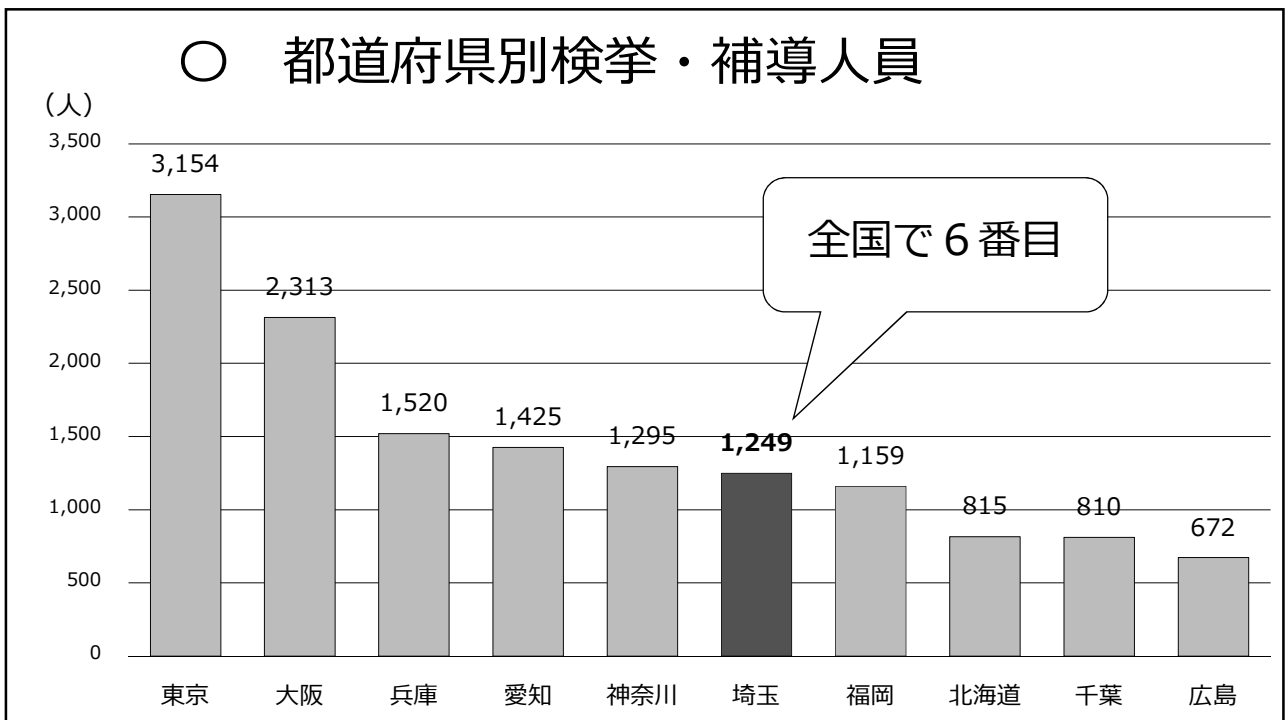
2 非行問題

- (1) 少年非行の現状
- (2) 課題
 - ア 特殊詐欺への加担
 - イ 大麻使用者の増加

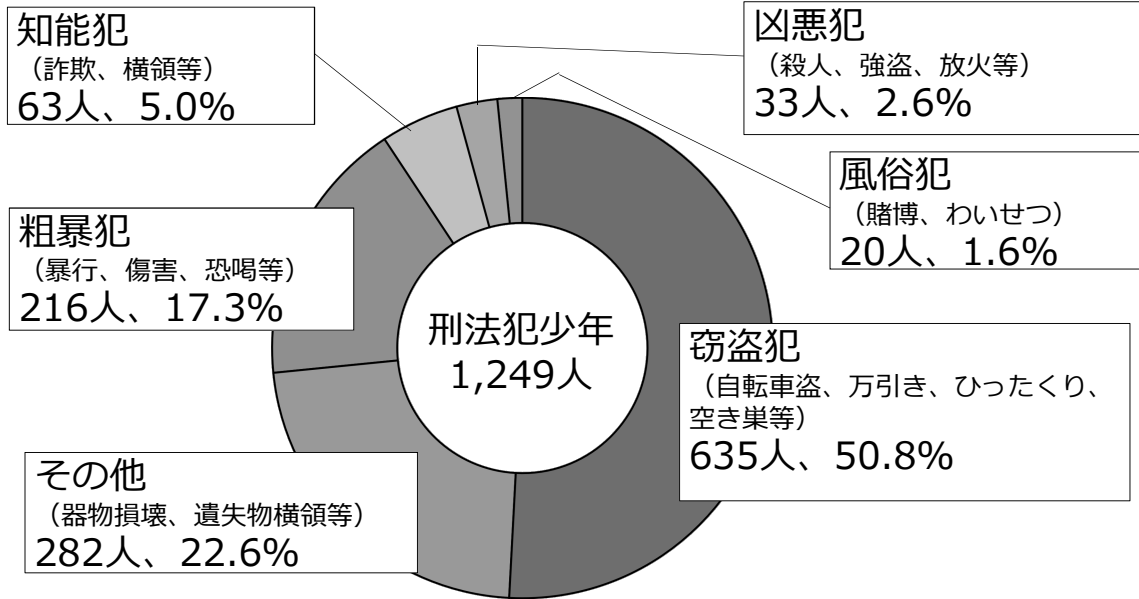
○ 刑法犯少年の推移



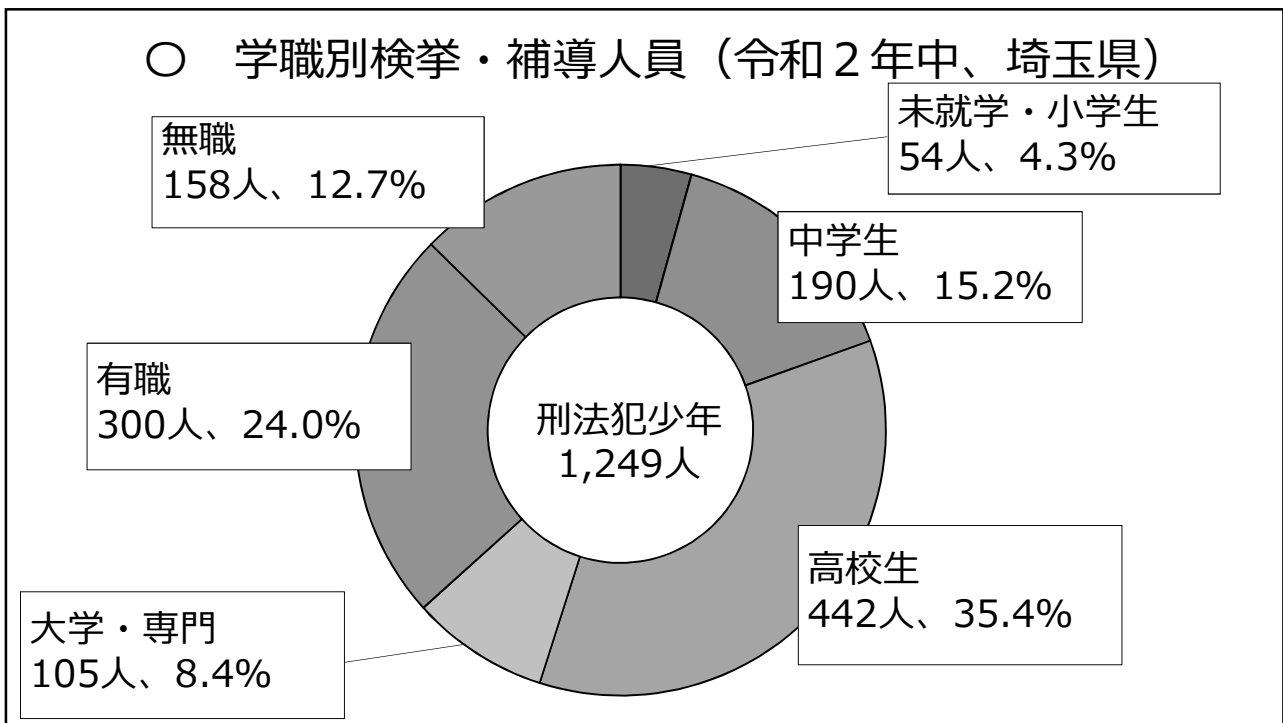
○ 都道府県別検挙・補導人員



○ 罪種別検挙・補導人員（令和2年中、埼玉県）



○ 学職別検挙・補導人員（令和2年中、埼玉県）

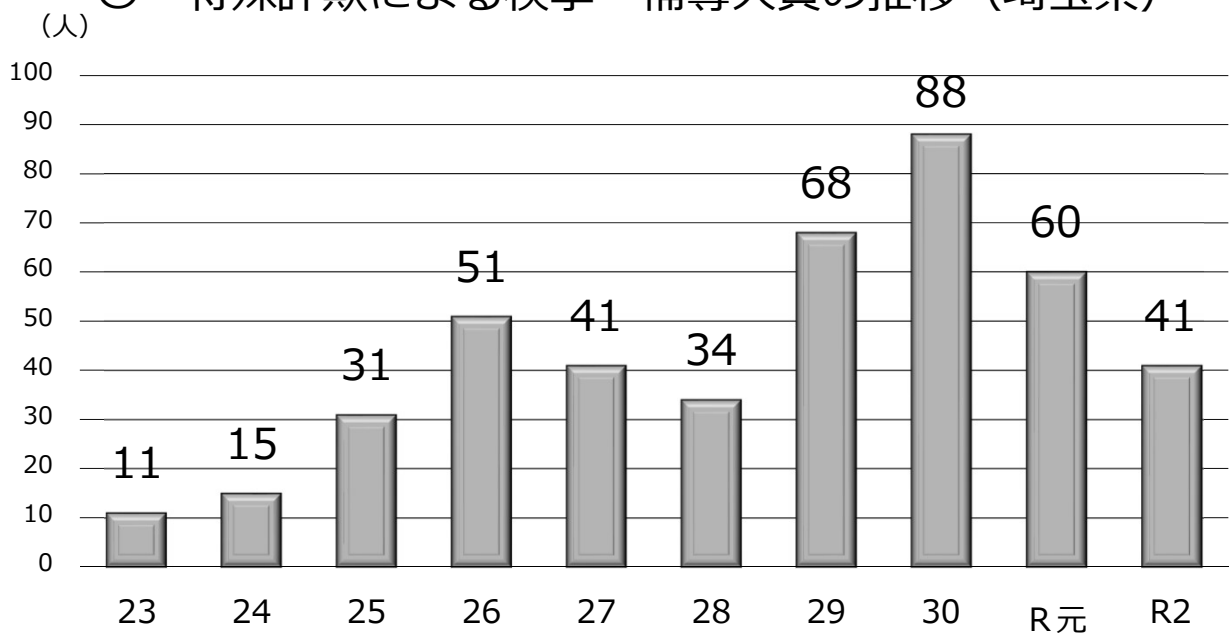


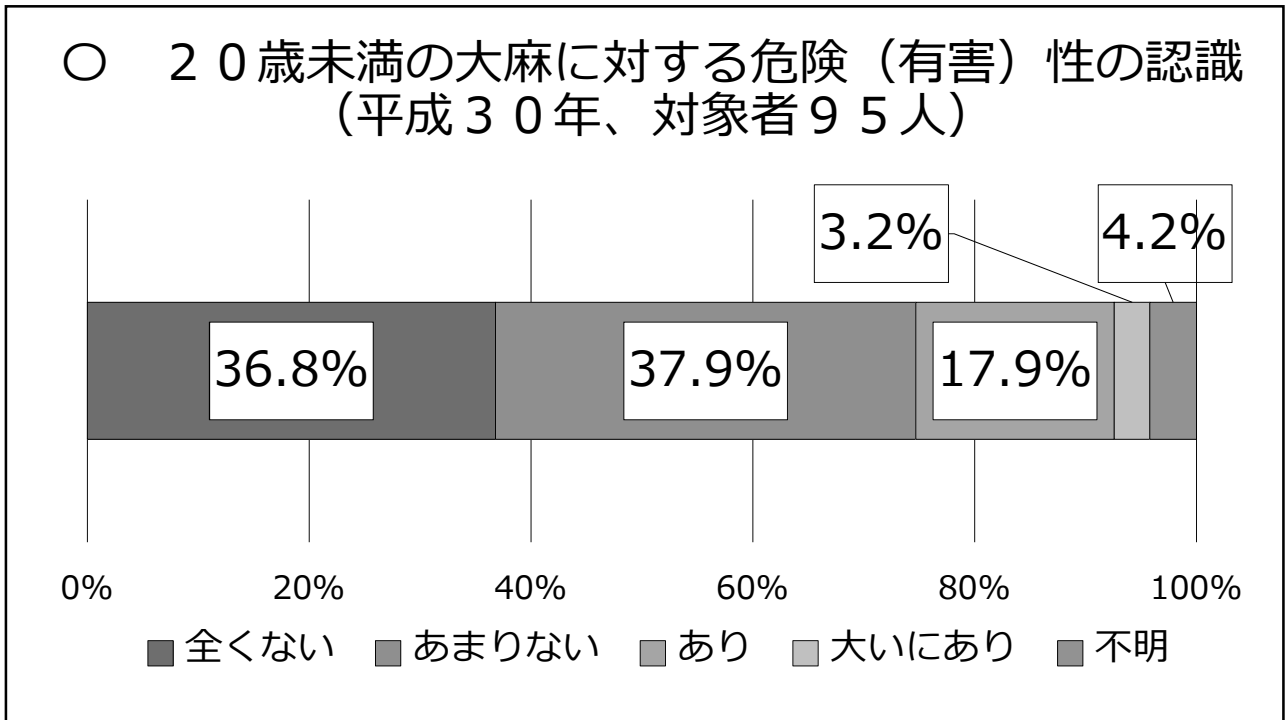
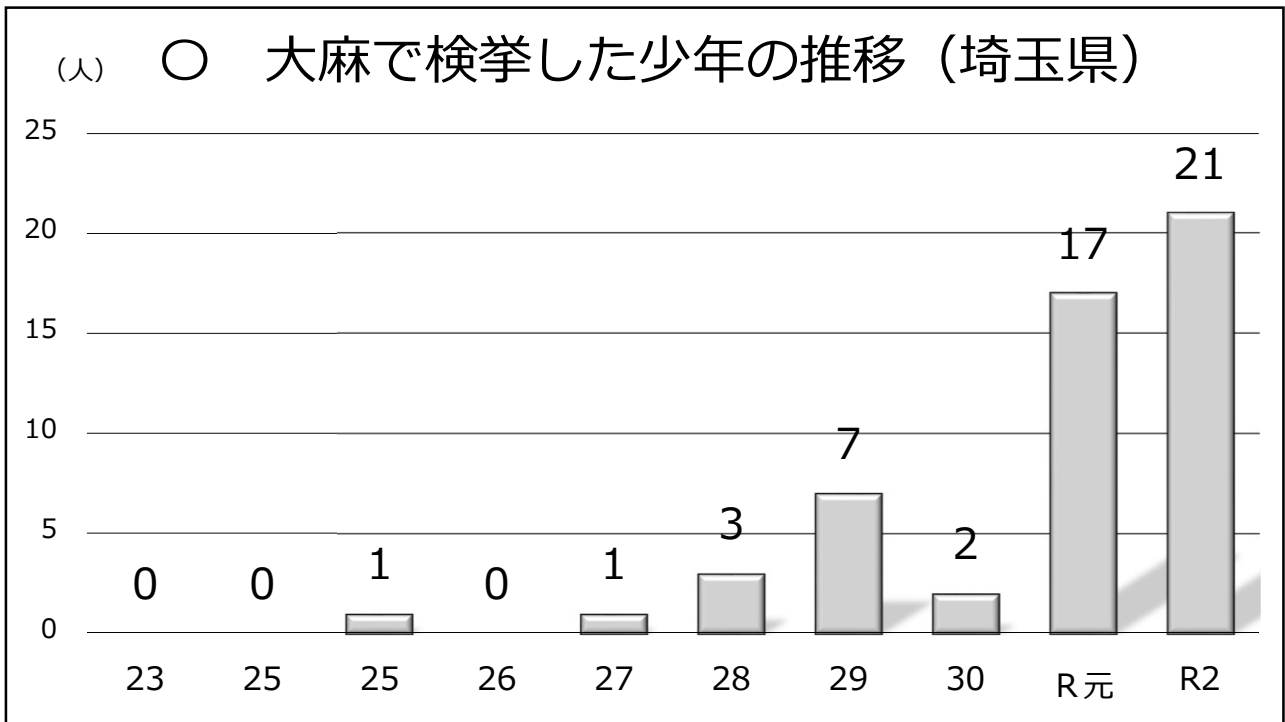
(2) 課題

ア 特殊詐欺への加担

イ 大麻使用者の増加

○ 特殊詐欺による検挙・補導人員の推移（埼玉県）





大麻を使用したきっかけは



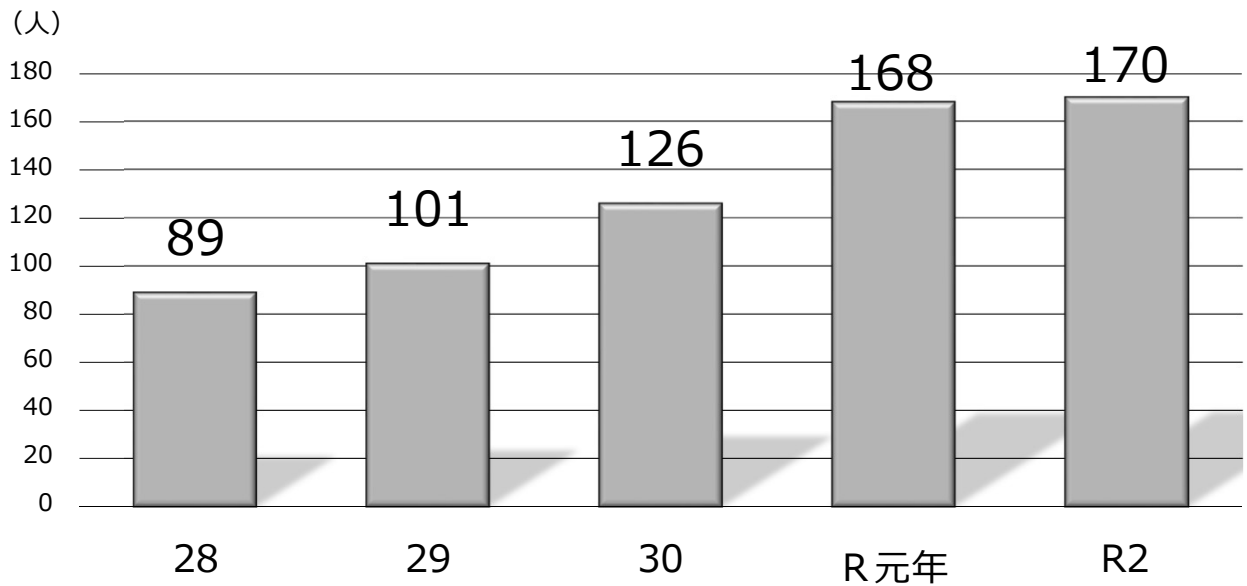
「誘われて」が
86.1%！！

3 少年の性被害防止

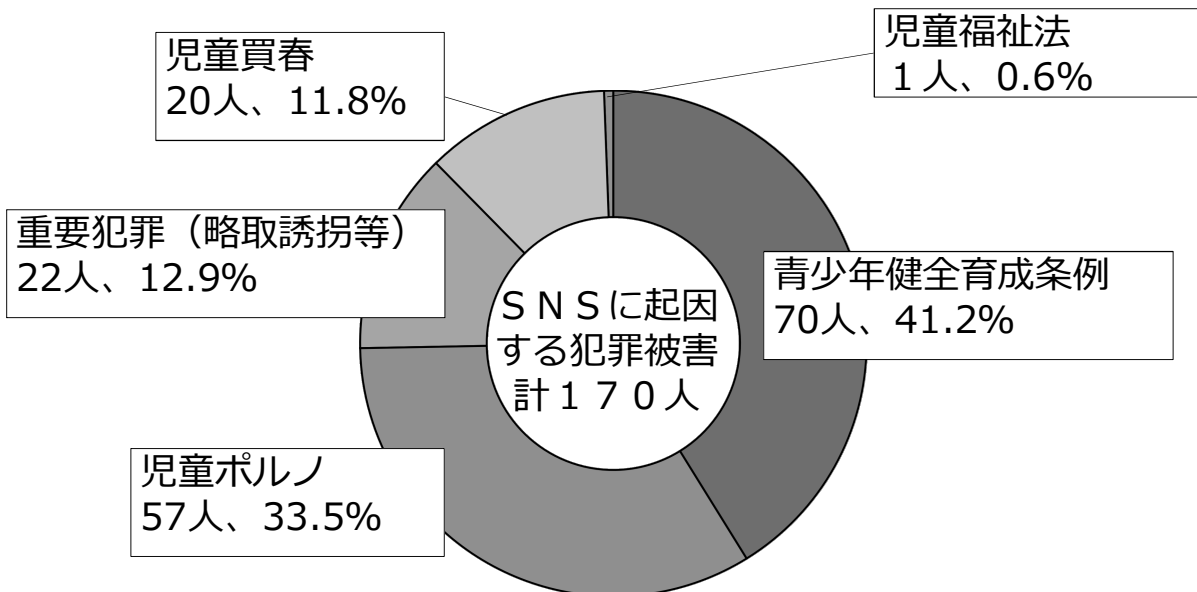
SNS利用に起因する犯罪被害

- 重要犯罪（誘拐等）の被害
- 自画撮りによる児童ポルノ被害

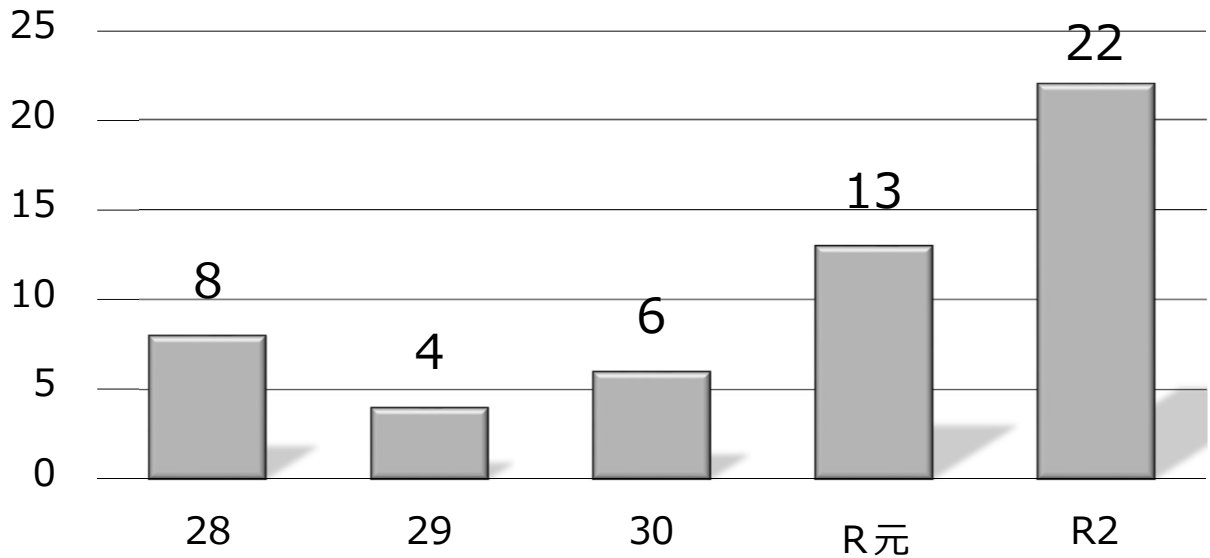
○ SNSに起因する犯罪被害の推移（令和2年中、埼玉県）



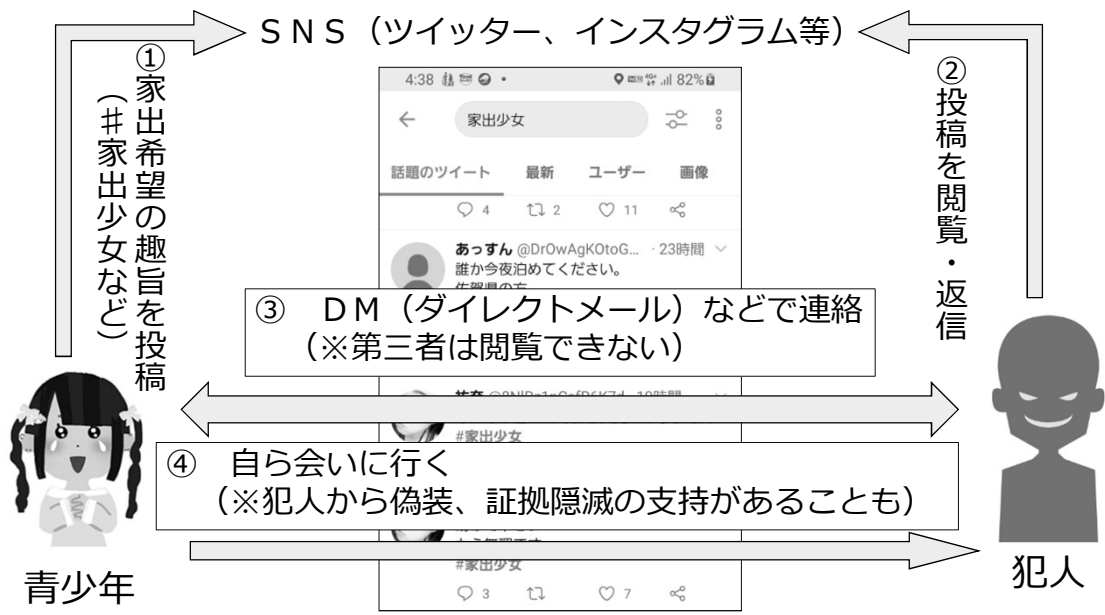
○ SNSに起因する犯罪被害罪種別（令和2年中）



○ SNSに起因する重要犯罪被害の推移（令和2年中、埼玉県）



SNS利用の誘拐事件の流れ

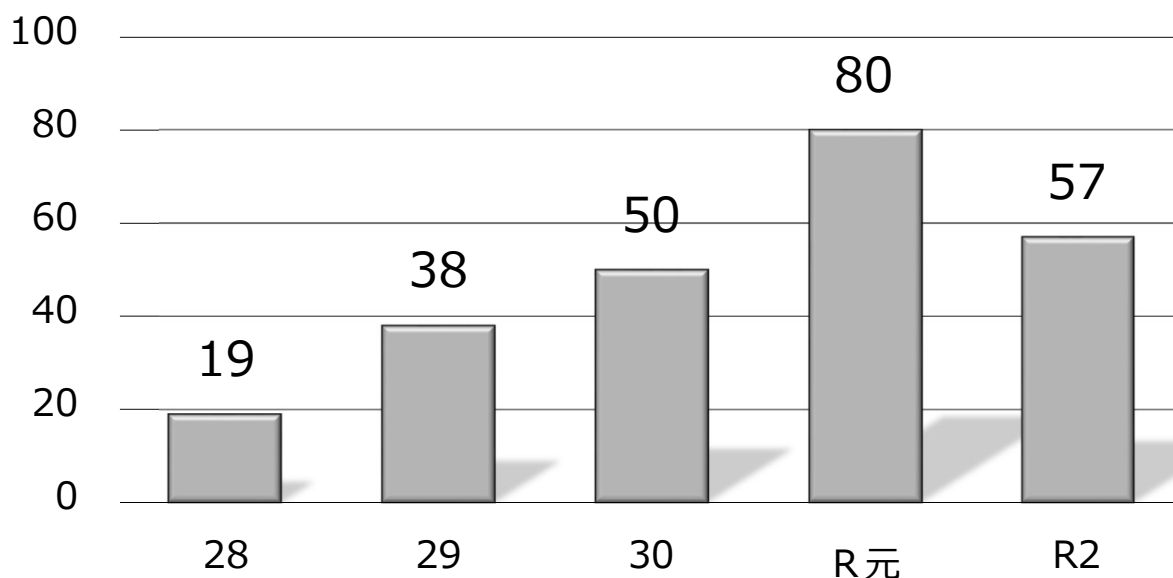


○ 自画撮り被害とは

騙されたり、脅されたりして青少年が自分の裸体を撮影させられた上、メール等で送られる被害

児童ポルノ被害の約半数を占める。

○ SNSに起因する児童ポルノ被害の推移（令和2年中、埼玉県）





なりすましによる被害

出典：京都府自画撮り被害防止リーフレット



威迫、困惑等による被害

出典：京都府自画撮り被害防止リーフレット

被害者が仕様していたSNSで多かったのは…

Twitter、インスタグラム

この2つで約半数

その他、フェイスブックなどのほか、
モンスターハンターや荒野行動などのオンラインゲームでも

被害者の約9割が

フィルタリング未使用

特殊詐欺、薬物乱用、SNS被害等……

少年問題に大きく関わっているのは

インターネット
(特にスマホ)



重要なのは

- 家庭でのルール作り
- 正しいフィルタリングの設定

4 対策

○ 埼玉県の主な対策

(1) 子供安全見守り講座

学校等に「ネットアドバイザー」を派遣して

- ・インターネットの危険性
- ・保護者の役割
- ・家庭でのルール作りの重要性

などを指導します。

(2) 青少年健全育成条例に基づく立入調査

県職員が県内の携帯電話販売店を訪問し、販売店が青少年への販売に係る責務を遵守しているかを調査します。

(3) 非行・被害防止特別強調月間（7月）等における啓発活動

各種キャンペーン、広報媒体を活用した啓発活動

【参考】

○ その他の対策

・ 警察

インターネットセキュリティ教室

SNSによる注意喚起

・ 県教育委員会

ネット上の見守り活動（ネットパトロール）

学校における「ネット利用ルール」作り

・ 携帯電話事業者、NPO等による啓発講座、研修会